

国語科 3年
リモート会議アプリを使用した他県の異学年生との交流 (2時間計画)
(単元「他県の中学1年生からの質問に的確に答える」)

担当 大渡 克教

本単元は本校3年生の総合的な学習の時間で制作した動画「附中生からの未来へ向けてのメッセージ」(各動画30秒×12本)を熊本市の中学1年生に事前に見てもらい、それに関する質疑応答を行うものである

【活動の目標】

必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる(思・判・表A(1)エ)…相手校1年生

自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる(思・判・表A(1)イ)…本校3年生

【問い】

- 異学年生徒からの質問や意見に対して、自分の立場を踏まえ、聞き手が納得できるように説明しよう。
- (1)聞き手に自分の立場や考えを伝える説明はどのようなものであればいいのか
- (2)聞き手が納得する事例や根拠はどのようなものであるか

今回 ICT を活用した場面	従来の活動/資料
<p>A1 一斉学習 / C2 共同での意見整理 / C1 発表や話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作した動画の視聴を行い、改めて自分たち立場や考えを確認する。 動画に対する質問を想定し、自分たちの考えを伝えるための資料(具体的な事例や根拠)づくりを行う(Google スライドを使用) <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料の加除修正が容易で試行錯誤がしやすい。 ○書き込みが同時にできるので、作業効率は良い。 	<p>想定される質問について、付箋等を用いながら、情報を整理する。</p> <p>資料は手書きで作成。または、個別にPCを使用し、作成した後に、複数の資料を1つに合成する。</p>
<p>C4 学校の壁を越えた学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ZOOM を使用し、動画に関する質疑応答を行う。 相手校とのクラス数や授業開始時刻の違いがあるため、2限連続かつ本校は2学級合同での授業とする。 授業の流れは以下の通り <ol style="list-style-type: none"> 動画についての質疑応答…動画の本数だけ繰り返す <ol style="list-style-type: none"> 動画視聴 30秒 質疑応答 8分 「1」に関する評価…本校の監査委員が行う 振り返り…それぞれの学校の指導者から説明 	<p>接続のイメージ</p> <p>本校 A 組 生徒用端末</p> <p>本校 B 組 プロジェクタ</p> <p>指導者用 PC</p> <p>指導者用タブレット 大型ディスプレイ</p> <p>熊本市立中学校 1年1組</p>

【ICT 機器を活用する良さ】

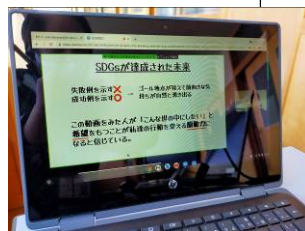
○学校内にあっては、多人数であっても、また違う教室であっても同じ会議や話し合いに参加できるというメリットはある。
○学校間であっても、複数箇所から会議や話し合いに参加することは可能である。



本校の教室の様子



質問に答える本校の生徒の様子



本校の生徒が予め作成していたスライド



指導者用 PC の映像

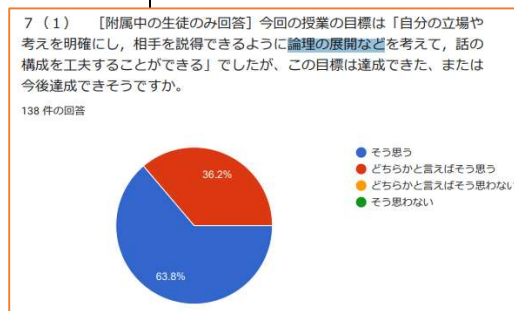
B1 個に応じる学習

事後の振り返りの際に、各自で本時の目標について、どのくらいそれが達成できたのか等について Google forms で回答する。

振り返り用紙等に手書きで記載する。

【ICT 機器を活用する良さ】

○生徒の回答がリアルタイムで見ることができ、それらを踏まえて授業のまとめ等が行える。
○目標の達成度についての傾向がすぐに把握でき、授業改善に資することが容易である。
○アカウントさえあれば、両校の生徒の思いなどが即座に共有でき、また相互評価も可能なため、自己評価と合わせて、自分たちの学びの良かった点を見つけやすくなる。



本校生徒の振り返りの結果（一部抜粋）

【ICT 活用のポイント】

リモート会議アプリの使用によって、今後の社会において、ますます行われるであろう遠隔での会議を実際に行うことができた。中学校国語科においては、これまで培ってきた力を、学年を経るごとに習熟させることも重要であり、そのような意味でも、異学年間での話し合いを素材とした授業を行うことは有効であった。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・相手校の生徒端末では Google forms が使用できなかったため、相手校の生徒は振り返りをプリントで行った。
- ⇒相手校の端末が Ipad であったため、一人一人に Google アカウントが与えられていなかった。OS 等の違いに関わらずアンケート等が行えるアプリ等の使用も視野に入れるべき。
- ・効率的な接続の仕方
- ⇒このような会議を行う際のノウハウの共有が必要。